



亀っ子だより

第12号

— 亀崎小学校 校長通信 — 2019年10月22日

修学旅行に行ってきました

10月16日(水)17日(木)に6年生と修学旅行に行ってきました。傘を出すことは一度もなく、天候に恵まれた旅行となりました。この修学旅行で一番素晴らしいと思ったことは、全員が参加し、全員が体調を崩さず、全部の予定をやりきったことです。(このことは、野外活動の時と一緒です)子どもたちが体調を崩さなかったことは、子どもたちの自己管理能力の高さを物語っていると思います。保護者の方と先生とが日頃から育ててきた成果であり、そのことを実践した子どもたちは素晴らしいと思っています。また、修学旅行にあわせてお家の人が子どものコンディションをしっかり整えてくれたことも大きかったと思います。一泊二日、体調を崩さないことはたやすいことではありません。このことを、子どもたちのこれからの自信につなげていってほしいと願っています。

また、部屋食で宿の人が食事をもってきてくれたとき、「ありがとうございます」とお礼を言う声が多く部屋から聞こえてきました。二日目の宿を出るとき、見送ってくださった人たちに「ありがとうございました」と大きな声でお礼を言う人が多くいました。今回の修学旅行のスローガンは「この日から 大人への道 歩み出せ!!」でした。大人への道を歩み出す6年生として、旅行の中で礼儀正しい振る舞いができることを願っていました。人と人との関わりの中で、何がしてもらったときにお礼が言えることはとても大切なことです。そのことがきちんとできている場面にたくさん巡り会えたことは、とてもうれしいことでした。

さらに、男子の部屋も女子の部屋もスリッパが整頓されていたことです。(乱れていたときもありますが、多くの時間整頓されていました)身の回りの整理整頓ができることも、礼儀正しさの一つと私は思っています。このことも、とてもうれしいことでした。

私にとって、6年生にたくさん感心させられた充実感満載の旅行でした。

道路に立っていたとき地域の人が教えてくれたこと

ある朝、電気屋さんの前の横断歩道で立っていました。家から出てきた子が、大きなゴミ袋を手に持っていました。その日がゴミの日で、お家の人のお手伝いにゴミ出したのでしょう。忙しい朝でも、ちゃんとお手伝いができている姿を感心して見ていました。すると、近くの人が通りかかり「学校の先生ですか？私が洗濯ものを干している時にいつも、『おやようございます』と元気よく挨拶してくれる男の子がいます。朝からとてもよい気分になります」と教えてくれました。地域の人々の気持ちを、朝の挨拶でよいものにしてくれる子どもが亀崎小学校にいることをとても誇りに思いました。うれしいことが重なって、晴れやかな気持ちになりました。

表彰の記録

○名古屋地区小学生秋季記録会

女子5年1000m

第6位 天木 心音 (5年)

女子5年走幅跳

第6位 間瀬 珠理 (5年)

女子5年走高跳

第8位 岩本 真季 (5年)

- | | | |
|----------------|-----|------------|
| 女子4年走高跳 | 第4位 | 間瀬志央梨 (4年) |
| 女子4年80mハードル | 第7位 | 間瀬志央梨 (4年) |
| 男子4年ジャベリックボール投 | 第5位 | 秋田 陽彩 (4年) |
| 男子4年走高跳 | 第6位 | 片山 迅 (4年) |
- 第73回半田市スポーツ大会
- | | | |
|-------------|-----|------------|
| 陸上競技女子5年走幅跳 | 第2位 | 間瀬 珠理 (5年) |
| 女子5年100m | 第3位 | 石川陽南子 (5年) |
- 第31回森と湖のある風景画コンクール
- | | | |
|----------|-----|------------|
| 小学生高学年の部 | 入 選 | 米津 拓真 (4年) |
|----------|-----|------------|
- 2019軟式野球知多中部学童部夏季大会 乙川亀崎クラブ 準優勝
- 吉沢 峻 (6年) 松下 蒼羽 (6年) 赤崎 日悠 (5年) 宮地 潤 (5年)
- 第11回半田市小学生体重別柔道大会
- | | | |
|--------|------|------------|
| 11グループ | 最優秀賞 | 北口 勇樹 (4年) |
|--------|------|------------|
- 第26回半田市スポーツ大会バレーボール 第3位 三木 ゆめ (5年)
- 第4回常滑市バレーボール小学生大会 準優勝 三木 ゆめ (5年)
- 第8回勇輝会館空手道大会
- | | | |
|------------------|-----|------------|
| 選抜小学5年男子33kg未満の部 | 第3位 | 佐藤 大樹 (5年) |
|------------------|-----|------------|
- 第26回愛知県武道館小学生柔道大会
- | | | |
|---------|-----|------------|
| 5年生男子の部 | 第3位 | 横田 蒼空 (5年) |
|---------|-----|------------|
- 半田市バスケット協会第1回モトムカップ
- | | | |
|------|-----|-------------|
| 男子の部 | 第1位 | 敢闘賞 アルカダシ男子 |
|------|-----|-------------|
- 宮地 瞭 (6年) 石川 潤 (6年) 神谷 啓太 (6年) ヘンリー太一 (6年)
渡邊 一誠 (6年) 栗田 遙仁 (6年) 中村 歩夢 (6年) 伊藤大吾朗 (5年)
榊原律久登 (5年) 小路口佳登 (3年)

♣ 子育てアラカルト ♣

【保護者と親】

ところで、あなたは「保護者」だろうか？それとも「親」だろうか？
比較的doingが多い人を「保護者」と呼び、だんだんbeingができるようになった人を「親」と呼ぶ。

「保護者」から「親」への道はそう容易ではない。

子どもの成長にあわせて、親もまた成長していかなくてはならない。

親にbeingが多くなるにつれて子どもはどう変化していくか。

子どもは自分で

(か) 考え、(き) 気づき、(く) 工夫し、(け) 決断し、(こ) 行動できるようになる。

つまり、「生きる力」が身につくということである。

この自分で「考える」ということが重要なのだ。なぜなら、

【心に刻む言葉】早く答えを出すことが要求される

だから子どもたちは考えることをしなくなった！

【心に刻む言葉】人は、考えた以上のことはできない！

【心に刻む言葉】転ばぬ先の杖 より 転んだ後の絆創膏！

(ある教育者のひとり言 より)

※「doing」は「やり方」、「being」は「あり方」と訳されることが多いようです。
「あり方」とは、物事の「正しい状態」や、物事の「正しい存在のしかた」のこと、
「やり方」とは、物事の「スキル」や「テクニック」のことです